2014.10.24　１０月例会用資料

ASK歩く会
隅田川歩き(その２)　報告

世話人(金作・大出・稲田)

開催日　2014年10月17日(金)　晴れ

出発　小田急線　新百合ヶ丘駅

午前　9時

解散　午後　7時（つづらお　で反省会も実施）

参加者　12名

コース

新百合ヶ丘駅 ⇒ 清澄白河駅 ⇒ 萬年橋 ⇒ 芭蕉庵跡・記念館 ⇒ 江島杉山神社(生延びたイチョウ) ⇒吉良邸跡 ⇒(回向院) ⇒ 両国橋 ⇒ 柳橋 ⇒ 蔵前橋 ⇒ 厩橋 ⇒ 駒形橋 ⇒ 昼食(駒形どぜう) ⇒ 吾妻橋 ⇒ 浅草寺周辺(生延びたイチョウ) ⇒ 浅草駅 ⇒ 新百合ヶ丘駅

清澄白河周辺

新大橋
新大橋バス停
森下
深川神明宮
芭蕉記念館
芭蕉稲荷
芭蕉記念館分館
万年橋
清澄一丁目バス停
高橋ファミロード
高橋
深川江戸資料
清澄庭園
清澄庭園前バス停

萬年橋

小名木川にかかる橋で第一橋梁である。当橋のすぐ西側で小名木川は隅田川と合流する。葛飾北斎が富嶽三十六景の中で「深川萬年橋下」として描いた場所。

芭蕉記念館分館

芭蕉翁の像

芭蕉稲荷神社(深川芭蕉庵跡)

芭蕉稲荷神社

芭蕉庵跡の碑

深川芭蕉庵跡は松尾芭蕉(1644～94)が、37歳の延宝8年(1680)から元禄2年(1689)の「奥の細道」の旅立ちまで、門人であり援助者でもあった杉山(鯉屋)杉風の別荘を借りて住んでいたところ。

芭蕉記念館

入口

本物は？

正松尾芭蕉ゆかりの地である江東区に区が建てたもの。松尾芭蕉に関する資料が展示されている。また句会なども行われている。

江島杉山神社

震災・空襲を生延びたイチョウ

江島杉山神社は、盲目の鍼灸師杉山和一検校(すぎやま わいち けんぎょう)が元禄6年（1693）当地に屋敷地を拝領、彼が修業した江の島の弁天岩窟を模して屋敷内に創建したといいます。明治時代に、江の島弁財天を祀った江島神社と杉山検校を祀った杉山神社とを合祀して江島杉山神社となりました。

一之橋

神両国二丁目と千歳一丁目を結ぶ橋で、隅田川から一番目の橋なので、一之橋と呼ばれます。赤穂浪士が泉岳寺に引きあげる時、始めて渡った橋です。

吉良邸跡(本所松坂公園)

·吉良の首洗い井戸

·本所松坂町、吉良上野介の屋敷は広大で、東西約134m、南北は約63mあり、坪数2,550坪（約8,400㎡）と諸書に記されています。吉良上野介が近藤登之介の屋敷跡を拝領したのが元禄14年（1701）9月3日、義士の討入りがあって没収されたのが同16年（1703）2月4日ですから、実際に住んだのは1年半に満たない短期間でした。

回向院

明暦3年(1657)江戸史上最悪の惨事となった「ふりそで火事」の犠牲者を弔う為に建立された寺院。 上杉屋敷から追っ手が来るからと、回向院で待ったが、来なかったので、泉岳寺に向かいました。この間、回向院の坊主は恐れて、開門しませんでした。

両国橋

千住大橋に続いて隅田川に2番目に架橋された橋。名称は当初「大橋」と名付けられていたが、西側が武蔵国、東側が下総国と2つの国にまたがっていたことから両国橋とされた。位置は現在よりも下流側であったらしい。

柳橋

橋の欄干の簪のレリーフ

名称は神田川と隅田川の合流点近くに「柳橋」と称する橋があった事にちなんだ。隅田川の船遊び客の船宿が多く花街として新橋と共に江戸・東京を代表する場所になった。柳橋芸者は遊女と違い唄や踊りで立つ事を誇りとし、プライドが高かったと言われている

蔵前橋

　橋名は「蔵前通り」にちなみ、また橋全体が稲の籾殻を連想させる黄色に塗装されている。昭和29年～59年まで東詰に蔵前国技館があり、高欄には力士などのレリーフが施されている。

厩橋

・ 美しいフォルムの3連アーチ橋で、橋全体が緑色に塗装され、馬を連想させるレリーフなどが施されている。橋名は西岸にあった「御厩河岸（蔵前の米蔵の荷駄馬用の厩）」にちなんでいる。「隅田川」では 第6番目の橋となった。

駒形橋

関東大震災の復興計画により現在の橋がはじめて架橋された。
それまでは「駒形の渡し」があった場所である。

駒形どぜう

駒形本店は、江戸時代の代表的な商家造り、出し桁造りを用いています。当時、大名行列を見下ろすことがないように通りに面した二階には窓がありません。見た目よりも店内は広く、暖簾をくぐると目の前にひろがる入れ込み席は、江戸の風情がそのままに残った空間です。

吾妻橋

菊橋名ははじめ「大川橋」と呼ばれた。これは近辺で隅田川が「大川」と呼称されていたことにちなむ。しかしながら、俗に江戸の東にあるために町民たちには「東橋」と呼ばれており、後に慶賀名として「吾妻」とされた説と、東岸方面の向島にある「吾嬬神社（あづまじんじゃ)」へと通ずる道であったことから転じて「吾妻」となった説がある。

浅草寺

628年に創建された都内最古の寺院。現世利益の「浅草観音」として多くの人から信仰され、国内外から年間約3000万人もの参拝者が訪れます。江戸文化発展の中心地でもあり、現在も周辺にその面影を残し、季節ごとにほおずき市、羽子板市など多くの行事が行われています。雷門に架かる大提灯は全国的に有名です。

浅草花やしき

乗っているのは誰？

1853年（嘉永6年）開園で、日本最古の遊園地とされる。ただし、一度取り壊された後、1947年（昭和22年）に復活した経緯があるため、断絶のない歴史としては前身も含めて1912年（大正元年）開業とされる大阪の枚方パークの方が長い。

ご静聴有難うございました

尚、11月21日(金)に多摩川支流の野川歩きを予定していますので、宜しくお願い致します